教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.１８７
２０２３（令和５）年６月１日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

良い月になあれ

６月　水無月、水張月。
穏やかな風が吹いています。風待月とも言うようで･･･。
遊楽部岳がくっきりと見えます。

中学校の体育祭も雨はあったものの、うちの職員や教育委員さんからは生徒が主役のすごくあったかく心に残る体育祭だったと聞きました。良かった。出席できずにごめんなさい。

今週末、来週末は小学校の運動会が続きます。数年ぶりの鼓隊パレードもあるとのこと。楽しみです。

子どもたちが動いているのって、見ていて良いです。先生方が落ち着いて見守っている姿も良いです。

生きてるって良い。人々の輝く目って良い。それを見つめる人々の目って良いです。
良い月になあれ。



窓の外をツバメが飛んでいます。戻ってきたなあと実感します。

２週間ほど医療機関にお世話になっていました。簡単に言うと手術入院。子どもの頃から怪我で通院はしてきましたが、病気で入院したのは初めてです。いい経験になりました。勉強になりました。函館五稜郭病院の医師、看護師、スタッフの皆さんにただただ感謝です。

患者さんへの接し方。医は仁術なり。医は人なり。感激の日々でもありました。

放射線治療を受けているという K さん。痛みからでしょう。頻繁にナースコール。時には本人の意志に反してセンサーでコールが繋がって。「あーっ。立ち上がっただけだ！」とイライラ。

K さんは入院も長いようでした。看護師さんたちとは顔見知りのよう。

若い、私から見ても娘くらいの看護師さんが、優しく、時にきつめに。敬語で、時には親しい口調で接しているのが、カーテン越しに伝わってきます。

「K さん･･･あんまり怒ったように言うと、みんな心配しなくなっちゃうかもよ。いいの？」
「･･･････良くない。」

それからの K さん、その看護師さんの指示に　「はい」「･･･です」って。

聞こえた私にとっても癒やしになりました。本当に良い看護師さん。

患者同士での会話はしないようにしていました。何度かドアの所で会釈くらい。私の退院の時には、治療に行っていたのかご挨拶はできなかったけれど、お一人暮らしのようで。元気かな。

病室では、コードブルーという音声も初めて聞きました。テレビも映画も見ていなかったので、てっきりドクターヘリのことだと思ってた。手術日の早朝でしたので、何だろうとスマホで調べました。ちょっと怖くなりました･･･。ほとんど人と会話をしなかったので、退院からしばらく声が出ませんでした。今は出てきましたが。

自分もずっと、人を相手にする仕事をしていると思ってきました。プロなんだと。

でも、人の命を救うという点では医療のプロには適いません。改めて実感です。それは決して卑下なんかじゃなくて Respect です。すごく良い２週間でした。痛みはあったけど･･･。

お世話になりました。人生観も変わりました。また自分の仕事頑張ります。

